



高密度ポリエチレン管用

吸排気弁ユニット

NAV-ODC4-U-PE

IM105

取扱説明書

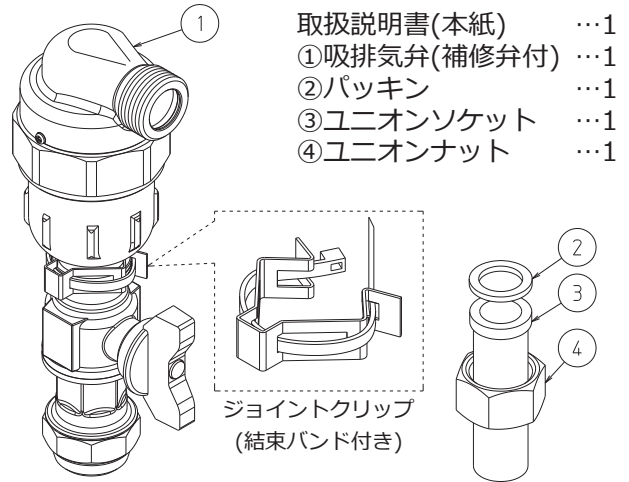
この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく施工して頂きますようお願い申し上げます。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

仕様

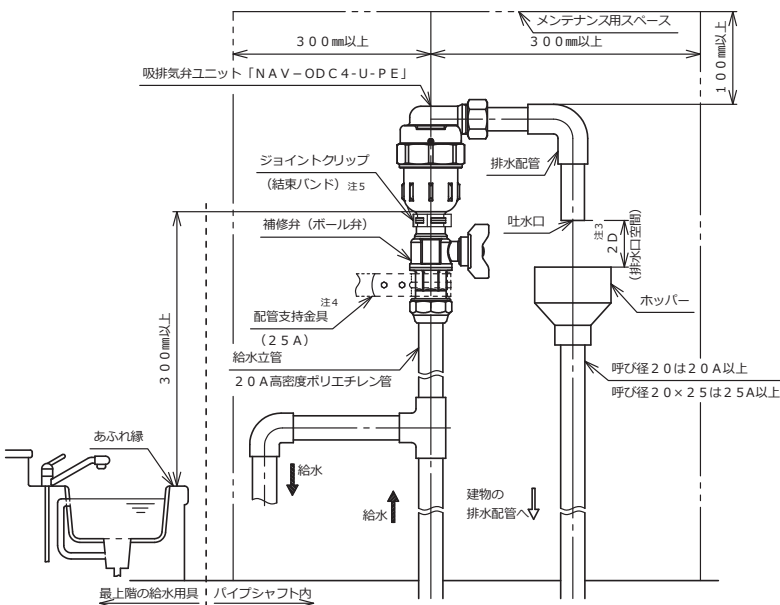
項目		呼び径	20	20×25
使用流体			水道水(常温:20±15℃)	
使用圧力			0.05~1.0 MPa	
性能	吸気量 ^{注1} (弁差圧2.9kPa時)	標準状態	760L/min (12.6L/sec)	880L/min (14.6L/sec)
	適応する立管口径 ^{注2} (標準状態)	A	40mm	50mm
		B	50mm	50mm
圧力下排気機能			あり	あり
適用管種			高密度ポリエチレン管	
排水配管取出し(ユニオンソケット)			20A	25A
重量			2.3kg	2.3kg
高さ			249mm	255mm
ストレーナの有無(吸気側)			あり	あり

注1 吸排気弁単体による性能
注2 A: 必要吸排気量規定のある水道事業者
(札幌市、横浜市、新潟市、名古屋市、京都市、堺市)及び都市再生機構の基準
B: 東京都水道局の基準

梱包内容



設置例



- 吸排気弁は維持管理を要する器具です。設置の際は、左図のようにメンテナンス用スペースを必ず確保してください。また、建物の外壁に沿う配管等へ設置する際は、安全に維持管理ができるよう配慮してください。
- 取付け前に必ず洗管し、ごみ等の異物を十分に排出してください。
- 給水圧力が安定しない場合、弁が開閉を繰り返す排水することがありますので、立管頂部の圧力が0.05MPa以上確保できる給水設備としてください。
- 取付け姿勢は鉛直とし、2°以上傾かないようにしてください。傾きが大きいと正常に作動しない場合があります。
- 給水器具や水受け容器のあふれ縁より300mm以上、上方に設置してください。(設置例を参照)
- 給水、排水配管には適切な支持を確実に行ってください。注4
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で握らないように注意してください。

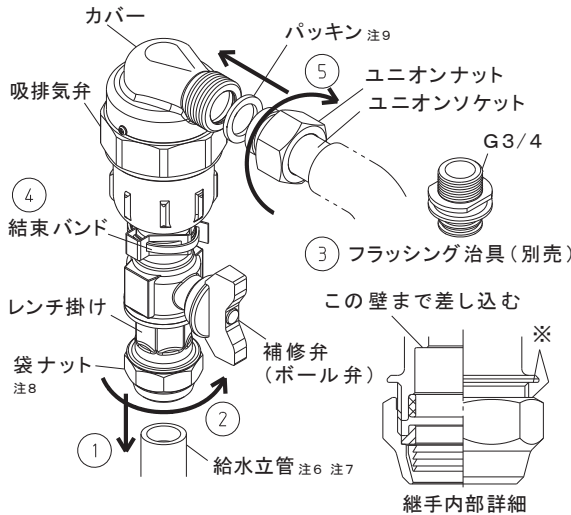
- 万が一の排水に備えて、吸排気口へ付属のユニオンソケットと別売りの継手を接続し、所定の排水口空間を設けて建物の排水配管へ導いてください。排水口空間を設けず直接建物の排水配管へ接続すると汚水を吸い込み、給水を汚染する場合があります。また、排水配管をビニルチューブで施工すると吸気量が大幅に減少し、逆流を防止することができません。(設置例を参照)
- 吐水口とホッパーの中心を合わせるように設置してください。排水の状態によっては、吐水口から外側へ飛散する場合があります。
- 補修弁を開閉する際はゆっくり開閉し、全開で使用してください。
- 凍結が予想される場合は、保温等凍結防止策を講じてください。このとき、排水配管の吐水口を塞がないでください。
- 解氷作業等による直火などでの加熱は行わないでください。吸排気弁の内部部品が損傷し、漏水の原因となります。

注3 口径の2倍以上(都市再生機構は60mm以上)

注4 補修弁を配管支持金具(SGP用25A)にて支持することができます。

注5 結束バンドは必ず洗管後に締結してください。

取付け手順



- ① 給水立管端部から 35mm の位置に標線を引き、標線が隠れるまで差し込んでください。注6 注7 注8
- ② 工具を袋ナット・レンチ掛けに掛け、※印の二面が接触するまで締め付けてください。
- ③ 下記取外し手順に従い、補修弁から吸排気弁を取外し、フラッシング治具(別売)を使用して給水立管内を洗管してください。
- ④ 再度吸排気弁を取付け、結束バンドを締結してください。
- ⑤ 付属のユニオンナット・ユニオンソケットに別売りの継手を接続し、カバーに手締め又は工具等を使用して締め付けてください。注9

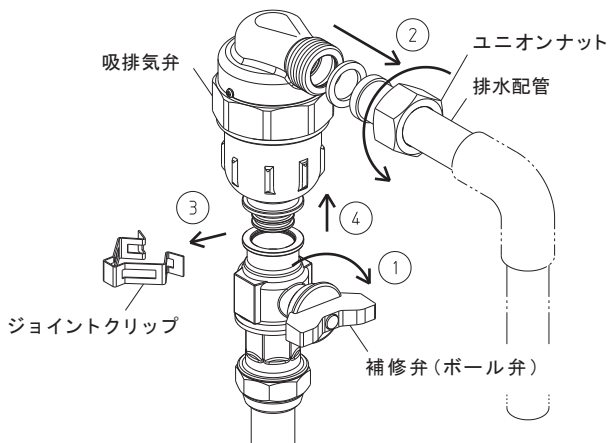
注6 給水立管は管軸に対して垂直に切断し、バリ等がある場合は除去してください。この時管内及び管表面に切粉が残らないようご注意ください。

注7 管の傷や汚れは漏水の原因となります。

注8 差し込む前に袋ナットが外れない程度に緩んでいることをご確認ください。

注9 パッキンの入れ忘れにご確認ください。

吸排気弁取外し手順



⚠ 本製品を分解する場合は、補修弁を必ず閉じてから行ってください。補修弁を開いたまま分解すると、水の吹き出しや吸排気弁の飛び出しにより、怪我や建物周辺を汚す恐れがあります。

- ① 補修弁を右にゆっくり回し閉にしてください。
- ② ユニオンナットを緩め、排水配管を取外してください。
- ③ 結束バンドを切断し、ジョイントクリップを取外してください。手で着脱が可能です。
- ④ 吸排気弁を上へ引抜き、給水立管から取外してください。注10

取付けは逆の手順にて行ってください。注11

注10 内部に残っている水がこぼれる場合がありますのでご注意ください。

注11 吸排気弁と補修弁を接続する際にはOリングの噛み込みにご注意ください。

保守・点検

1. 本製品の分解にあたっては、**熟練した専門の方が実施してください。**一般の方は分解しないでください。
2. 排水配管の吐水口から常時排水がある場合や空気の排出がない場合など異常が認められたときは、設備・工事業者または当社にご連絡ください。
3. 本製品の機能・性能を維持するため、定期点検を実施してください。
4. 内部部品を交換する場合は、下記 URL より、吸排気弁 NAV-ODC4 取扱説明書をご参照ください。
https://www.nippov.co.jp/product/nav-odc4_man.pdf

⚠ 注意

- 仕様の範囲内でご使用ください。仕様外での使用は機能低下や破損の原因となります。
- 保管は直射日光や雨水を避け、器具の内部にごみやほこりが入らないようにしてください。
- 取扱い中、器具の落下等に注意してください。損傷によって漏水や故障の原因となります。
- 解体作業等での直火等による加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。
- ジョイントクリップにはいたずら防止のため、結束バンドが取付けてあります。吸排気弁取外しの際は結束バンドを切断していただき、再度取付けるときは以下のものをご準備ください。
結束バンド寸法(目安):幅 4.8mm×長さ 190mm×厚み 1.6mm(耐候性があるものをご使用ください)

● ご不明な点は、最寄りの営業拠点までお問い合わせください。



本社・松本工場 〒399-8750 長野県松本市笹賀3046
北海道工場 〒059-1362 北海道苫小牧市柏原6-120
東京、設備、関東、神奈川、札幌、仙台、松本、北関東、名古屋、大阪、広島、福岡

<https://www.nippov.co.jp/>



営業拠点はこちら
弊社 Web サイト

ISO 9001・14001 認証取得

この取扱説明書に記載した内容は予告なく変更することがあります。
また、許容値のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法は同一ではありません。

IM105 2407D